

しのぶ草



平成 25 年 12 月 13 日 発行

発行：宮崎市教育委員会文化財課

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

〈木花中生徒が職場体験学習〉

11月26日(火)から28日(木)までの3日間、木花中学校の2年生2名が、当館で職場体験学習を行いました。同校の当館での職場体験学習は今回が初めてでした。職場体験学習の場所として選んでいただいたことを大変ありがたく思っています。職員の指導のもと、遺跡からの出土物の整理作業に、2名とも大変真面目に一生懸命に取り組みました。体験してもらった作業は、土ふるい(小さな出土物を見つける)、土器片の水洗い、拓本作り(土器片の文様を紙に写し取る)などでした。多くの知らない大人の人たちの中に入っての3日間でしたので、緊張もかなりのものだったでしょう。日頃見ることのない、出土物の整理作業とともに、貴重な体験になったのではないかと思います。

〈鹿児島県から来館〉

10月30日(水)に鹿児島県坊津町高齢者クラブの皆様22名が、11月22日(金)に鹿児島県志布志市有明文化協会の皆様22名が、それぞれ来館されました。当館職員の説明を聞きながら、歴史館の展示物や安井息軒旧宅を熱心に見て回っておられました。遠方から来館していただき、職員一同大変感激したところです。安井息軒先生の名前が、鹿児島県でも少しずつ広まっていけばと思います。



〈日向路「介さん」道中記⑨〉

日向国を南から北へと歩を進めた介さん一行、延岡城下で豊後街道に別れを告げ、西へと方向転換、九州の山懐である高千穂、阿蘇方面へと向かった。

八月三日に宿をとった北方町曾木。曾木には今でもその威厳を漂わせる名刹慈眼禅寺がある。曹洞宗であり弘誓山と号すこの寺は、天文元年(1532)の創建、開基は甲斐周防守重吉、開山は伝応宗達とされている(「宮崎県史蹟調査」による)。幕末には勤皇僧胤康が住持をしていた寺としても有名で、この胤康とは、文久二年(1862)延岡藩主内藤政



義に倒幕挙兵の内訴を企て失敗し、翌年京都の獄中にて没した人物である。現在は、境内にはこの胤康の墓石と記念碑がたっている。



「四日、曾木より、高智穂船の尾まで四里、右、二里半に舟渡し有り、綱(綱)瀬川と言う、河手前を兩名と言う山越え、此の山にて綱を振る 高智穂越えと言う、九州第一の難所、険阻、巽、馬少に通ず、馬上の者、前後首足、相ひ磨す」

曾木の宿場を出発した一行は、椎畑、綱の瀬川と五ヶ瀬川の岸に連なる難所を進み、代官所のある舟の尾を目指した。この峻険な道のりを、丸山雲平は「九州第一の難所」と記しているが、介さん本人も自らが綴った『西国御用状留』に「高智穂と申す西州一の険難を通り申し候」とその険しさを記している。

綱の瀬川流域で「此の山にて綱を振る」とあるのは、槇峰鉦山のことである。明暦三年(1657)新庄屋吉右衛門ほか二、三名により鉦脈が発見されたこの鉦山は、以来、内藤藩、三菱合資会社、三菱金属鉦業などにより銅山として経営され、昭和四十二年(1967)に閉山となっている。

次回、舟の尾から高千穂へ。介さん一行日向路の旅、いよいよ最終回である。

(文責 井田)

★行事等のご案内 ★

お気軽にご参加ください

◆ 歩こや 清武⑤

日時：平成26年1月15日(水) 午前9時～正午
城内・加納方面に約6.5km 歩く

集合・解散場所：きよたけ歴史館
※雨天時は中止(当日受け付け可)



◇文化探訪バスツアー②

日時：平成26年3月1日(土) 午前9時～午後3時半
集合・解散場所：きよたけ歴史館

内容：中世における伊東氏と島津氏の戦跡などを訪ねるバスツアー ※昼食各自持参

定員：一般25名

申し込み：はがき又はファクスで「文化探訪バスツアー② 申込」と明記し、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を歴史館へ (1組2人まで)

申込締切：2月15日(土) 必着 ※多いときは抽選